

学校番号	84	学校名	静岡県立新居高等学校（全日制）	校長名	野村賢一
------	----	-----	-----------------	-----	------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

校訓「勉学」「礼儀」「積善」を教育実践に生かし、心身ともに健全で高いところざしを持った生徒を育成し、地域に根ざした地域とともに歩む高校を目指す。

- ① 自らの生命を大切にし、たくましく生きるための心身の育成。
- ② 自らを律しつつ、広い視野を持ち、社会に貢献しようとする姿勢の育成。
- ③ 基礎・基本の確実な習得と、主体的に判断し、自己の進路目標を達成できる能力の育成。
- ④ 他人を思いやることや心から感動することができる豊かな人間性の育成。
- ⑤ 公正・公平な職務遂行及び開かれた学校運営の推進。

(2) 目標具現化の柱

- ア 生命が守られ、安全で安心して生活できる校内環境の整備 (①)
- イ 基本的な生活習慣の確立 (②)
- ウ 確かな学力の育成 (③)
- エ コース制、進路指導の充実 (③)
- オ 部活動、特別活動の充実 (④)
- カ 保護者や地域社会から信頼される、効果的かつ効率的な学校経営の推進 (⑤)
- キ 他校種との交流及び保護者・地域等との連携の推進 (⑤)
- ク 自己肯定感の向上、人権感覚の涵養 (①②③④)

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生命が守られ、安全で安心して生活できる校内環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・心を育てる講話や集団活動の実施 ・「いじめ」や「ひやり、はっと」等、生徒の心の状態を調査するアンケートの継続的实施 ・校内施設の定期的点検の実施 ・防災訓練の年2回の実施と内容の工夫 ・地域防災への参加促進 ・交通安全教室の年度当初の実施と交通安全指導の継続实施 	<ul style="list-style-type: none"> ・命を大切にし、思いやる心を持ち、判断力、行動力のある生徒が育つ。 ・「いじめ」を感じる生徒が早期に発見され、適切に対処される。 ・危険箇所が未然に補修される。 ・多様な状況に対応した訓練ができる。 ・地域防災への意識が高まり参加率75%を超える。 ・生徒の交通事故10件以下。交通違反50件以下。 	保健総務生徒
イ	基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・学年・全校集会の実施 ・「新居高ハンドブック」に基づく、保護者、教職員が連携した毅然とした指導の実施 ・登校指導、授業時間も含めた校内巡視の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、礼儀、正しい身なりなど、当たり前のことがきちんと身に付く。 ・問題行動が未然に防がれ落ち着いた学習環境が維持される。 ・生徒指導件数20件以下。 	生徒保健

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
イ	基本的な生活習慣の確立	・生徒の人権に配慮し、生徒の特性に応じた指導の実施	・生徒指導への保護者の理解度80%以上。	生徒保健
		・ルールについて考える教育の実践	・ルールについて自ら考え行動できる。	
		・海岸清掃等の奉仕活動の実践	・奉仕活動に全員が参加し奉仕の心が育つ。	
ウ	確かな学力の育成	・校内外を対象とした授業公開の実施	・生徒の実態にあった「新居高の授業」づくりが進む。	教務 進路 研修 図書
		・シラバスの継続的な改善と学習の手引きの活用	・全員が事前学習をしてテストに取り組んでいる。	
		・基礎学力テストの実施	・学習課題提出100%	
		・定期テスト前の学習支援の充実	・「授業がわかりやすい」と答える生徒の割合70%以上	
		・提出物の重視	・図書館利用者数5%増加	
エ	コース制、進路指導の充実	・習熟度に合わせた指導	・「授業がわかりやすい」と答える生徒の割合70%以上	教務 進路
		・生徒による授業評価の実施		
		・言語活動を意識した授業の継続		
		・読書活動の推進		
		・コース制の特色を生かした教育の推進と教育課程の検討	・改善点の検討を経て新教育課程が確立する。	
オ	部活動、特別活動の充実	・3年間の進路計画の改定	・進路に必要な学力が身に付く。	生徒
		・目標を意識した学習記録表の作成	・就職希望者の年内内定率100%	
		・1年次におけるインターンシップの実施等、早期からの進路行事の実施	・進路意識が向上し、望ましい職業観が育つ。	
		・地域の大学や商工会、職業訓練センター等との連携	・外部機関の活用・支援が充実する。	
		・フォークリフト及び玉掛技能講習の年2回実施	・資格の取得が進む。	
		・顧問の適正配置と支援制度の活用による部活動指導体制の充実	・生徒と顧問との信頼関係が深まり、部活動の定着率の高さが維持される。	
		・部活動を通じた健全な生活態度の育成	・部活動に参加したことにより、人間的に成長できたと答える生徒90%以上	
		・部活動の適正な活動時間の設定	・部活動と学業との両立ができていると答える生徒80%以上	
		・生徒会活動への自主的、実践的な取組の奨励	・生徒会を中心に委員会活動において生徒の主体的な運営場面が増える。	
		・学校行事の活性化	・集団への所属感、連帯感が深まり、公共心が育つ。	

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
カ	保護者や地域社会から信頼される、効果的かつ効率的な学校経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・公務に関する事務処理の簡素化・効率化 ・実効性のある予算編成と執行 ・経営予算の見直し年3回 ・リレー研修年1回以上 ・NESや校内LANの効率的活用 ・保護者アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務処理に掛かる時間が減少する。 ・教育活動が円滑化し、保護者からの信頼が深まる。 ・学校は相談に適切に対応していると答える保護者70%以上 	事務教務
キ	他校種との交流及び保護者・地域等との連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・保育体験実習や特別支援学校との交流 ・湖西市の小・中学校の生徒・教員との交流 ・家庭と学校間の緊密な情報交換 ・公開授業、ホームページ、メール配信等を活用した広報活動 ・新居高キャラクター「あらぼん」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い学校間のつながりができ、他校種の優れた取組が本校に反映される。 ・学校の様子が保護者や地域にタイムリーに伝わる。 ・メール配信登録率100% ・「あらぼん」が地域に親しまれる活動を行う。 	生徒研修総務広報委
ク	自己肯定感の向上、人権感覚の涵養	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のよさに着目した全職員による生徒への声掛け ・自分のよさ確認ワークショップの実施 ・学校行事の振り返りを通し、生徒相互による承認文化の形成 ・将来の目標を意識した教育活動の充実 ・生徒、保護者、教職員アンケートの実施 ・提出物期限厳守、会議等時間厳守の励行 	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの人から認められていると感じる生徒が増加する。 ・自分や周囲の人のよさに気付き、互いに認め合うことができる生徒が育つ。 ・将来の目標を語る生徒が増加する。 ・アンケート「私は一人の大切な人間である」において肯定意見80%以上 ・90%以上の職員が提出物の期限を守っている。 ・90%以上の職員が会議の開始時刻を守っている。 	研修生徒進路相談室